

予 算 要 求 資 料

令和7年度6月補正予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：母子保健指導費

事業名【新】分娩取扱施設・小児医療施設支援交付金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 医療整備課 医療企画係 電話番号：058-272-1111(内3236)

E-mail：c11229@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 100,250 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	100,250	100,250	0	0	0	0	0	0	0
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

地域で子どもを安心して生み育てることのできる周産期医療体制及び地域の小児医療体制を確保するため、分娩取扱施設が少ない地域等における分娩取扱機能の維持のための取組を支援するとともに、地域の小児医療の拠点となる施設について、急激な患者数の減少等を踏まえた支援を行う。

なお、対象となる医療機関は、患者減少等による経営状況の急変に直面しており、緊急性を要するため、可能な限り速やかに支援を行うためにも令和7年6月補正予算で対応する必要がある。

(2) 事業内容

①分娩取扱施設支援事業

R5年度の分娩取扱件数が、H29～R1年度の平均を下回っている分娩取扱施設に対し、給付金を支給

②小児医療施設支援事業

R5年度の小児入院患者数が、H29～R1年度の平均を下回っている病院に対し、給付金を支給

(3) 県負担・補助率の考え方

国10/10（医療施設等経営強化緊急支援事業）

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
交付金	29,500	分娩取扱施設に対する交付金
	70,750	小児医療施設に対する交付金
合計	100,250	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県保健医療計画（第8期）

岐阜県地域医療構想

(2) 国・他県の状況

厚生労働省により、人口減少や医療機関の経営状況の急変に対応する緊急的な支援パッケージとして、「医療施設等経営強化緊急支援事業」を予算化。

(3) 後年度の財政負担

本補助事業については、県負担無し。

(4) 事業主体及びその妥当性

地域の周産期医療体制及び小児医療体制の確保のための財政的支援であり、県として本事業を実施することは妥当である。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☒ 新規要求事業
☐ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 地域でこどもを安心して生み育てることのできる周産期医療体制及び小児医療体制を確保する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						

○指標を設定することができない場合の理由

医療機関の過去の分娩取扱件数や小児の入院延べ患者数に基づく給付であるため、目標の設定ができない。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	
令和5年度	指標① 目標： 実績： 達成率： %
令和6年度	指標① 目標： 実績： 達成率： %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない

(評価)
3

地域の実情に応じた分娩取扱機能や小児医療体制の確保は、地域において安心して出産することができる体制を維持するために必要である。

・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3 : 期待以上の成果あり
2 : 期待どおりの成果あり
1 : 期待どおりの成果が得られていない
0 : ほとんど成果が得られていない

(評価)

・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている

(評価)

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方角性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課
組み合わせる理由
や期待する効果 など

【〇〇課】